

日本の難民受け入れ - ウクライナ避難民 の受け入れを機に 考えること -



3月2日、日本政府は、ウクライナへの軍事侵攻による「避難民」の受け入れを表明しました。これまでに400人以上が避難をしています。また、省庁を横断した連絡対策会議が設置され、さまざまな支援策が打ち出されました。自治体や民間企業等での支援表明も相次ぎ、社会全体でのウクライナ避難民受け入れへの関心の高まりがみられます。

一方、日本は難民条約に加入しており、一昨年は約4,000人・67か国からの難民が保護を求めて難民申請をしています。今回、「避難民」「紛争難民」という言葉が政府文書やニュースに多く登場する中、それらの違いに対する疑問や、ウクライナ以外の難民の日本での状況などについて知りたいというニーズの高まりを感じます。

そこで、この度、PRIMEと難民研究フォーラムは緊急シンポジウムを開催することにしました。難民条約における難民の保護、避難民の意味合い、紛争難民への国際社会の対応、日本のこれまでの難民受け入れなどについてご理解いただける機会とする予定です。どうぞふるってご参加ください。

内容 (予定)

- イントロダクション：ウクライナ難民に対する日本政府の対応について
- 発表：戦争難民の保護と難民条約
- 発表：日本での難民保護の現状と課題
- パネルディスカッション、質疑応答など

登壇者：

- 阿部浩己（明治学院大学国際学部教授、PRIME所長）
- 新島彩子（認定NPO法人難民支援協会 支援事業部マネージャー）

日時

2022年4月23日（土）14:00～15:30

場所

ZOOMウェビナーを利用したオンライン開催

参加費

無料

お申込み

要 こちらのコードより
お申し込みください。



お問い合わせ



主催 明治学院大学国際平和研究所 (PRIME)

(共催) E-MAIL: prime@prime.meijigakuin.ac.jp

■URL: <http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime>

■TEL:03-5421-5652 ■FAX:03-5421-5653 (白金)

■TEL:045-863-2203 ■FAX:045-863-2205 (横浜)

難民研究フォーラム

<https://refugeestudies.jp/> info@refugeestudies.jp

明治学院大学国際平和研究所

PRIME
INTERNATIONAL PEACE RESEARCH INSTITUTE